

議員提出議案第15号

森林による温暖化防止などの施策の推進に関する意見書

このことについて、下記のとおり、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、環境大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣に意見書を提出する。

平成14年12月17日

提出者	三朝町議会議員	岡本岩夫
賛成者	三朝町議会議員	小椋昭一
賛成者	三朝町議会議員	香川和久
賛成者	三朝町議会議員	杉原憲靖
賛成者	三朝町議会議員	横木文雄
賛成者	三朝町議会議員	徳田修一郎
賛成者	三朝町議会議員	牧田武文

平成14年12月17日原案可決

三朝町議会議長 藤井 享

森林による温暖化防止などの施策の推進に関する意見書

近年、地球環境問題の中でも大きな問題となっているものの1つに地球温暖化があるが、現在、世界が一丸となって温暖化防止に向けて取り組んでいるところである。

森林は、多くの野生生物に生息地を提供するとともに、水源涵養や二酸化炭素の吸収等といった自然環境を調整する大きな機能を有している。

工業立国といわれる我が国にとって、CO₂の6パーセント削減は大変大きく、森林による温暖化防止対策が極めて有効である。

しかしながら、現在、多くの森林は温暖化や酸性雨で枯れ、また、森林の手入れなどが行き届かず荒廃し、集中豪雨で山を失うこととなっているのが現状であり、山を守り、森林を大切にすることが、現在の国策において一番求められているものと考ええる。

よって、政府におかれては、地球温暖化防止策の一環として、森林の持つ機能を十分認識され、有効でインパクトのある施策(森林交付税の創設)を推進されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成14年12月17日

鳥取県三朝町議会